



電気機械器具製造業

トヨタバッテリー株式会社

健康宣言

社員一人ひとりが心身ともに健康で、生き生きと活躍できる会社を目指します。

健康づくりを始めたきっかけ

社員の健康づくりを支援することが会社の持続的発展に不可欠だと考え、“安全と健康第一”の基本理念のもと、健康経営を推進しています。

取組 01

全社を挙げた敷地内禁煙の取組み (スモークフリー活動)

当社では受動喫煙対策として、2020年より全社を挙げたスモークフリー活動に力を入れて取り組んできました。

スモークフリー活動の組織は、工場部門の役員を委員長とし、人事、工務、組合、並びに各組織の従業員代表からなる健康推進部会で運営を行い、『2023年1月から会社敷地内の全面禁煙』を最終目標として、さまざまな対策を実施してきました。

会社の重点施策として取り組んだ結果、喫煙率がこれまでに比べ大きく減少しました。

敷地内禁煙という目標は達成できたため、今後は喫煙者に対する個別サポートに力をいれていきます。



取組 02

健康意識向上を目指した、全従業員対象の健康づくり活動の実施

健康意識向上と、健康づくりを始めるきっかけ作りとして、全従業員を対象とした健康づくり活動を年2回行っています。(春:健チャレ、秋:ウォーキングラリー)

多くの従業員に参加を促すために、食堂で自作のCMを流したり、チラシを配り声掛けを行っています。

また、年末には1年間の健康づくり活動のご褒美として、参加・達成状況に合わせて抽選を行う「年末KENKO抽選会」を行い、従業員の好評を得ています。





知事褒賞を受賞して



代表取締役社長 岡田 政道

この度は名誉ある静岡県知事褒賞を賜り、誠にありがとうございます。弊社の地道な取り組みを評価いただき会社を代表して心よりお礼申し上げます。

今後も、「地球環境」「地域社会」に貢献できる会社を目指すとともに、その実現に取り組む「従業員（人財）」が心身共に健康で生き生きと活躍できる会社づくりに邁進してまいります。

取組 03

心の健康に着目した、メンタルヘルス教育の充実

身体だけではなく、“心も健康”で働いてほしいという思いから、メンタルヘルス教育に力を入れて取り組んでいます。

自身のストレス対策としてセルフケアを目的としたeラーニングを全従業員対象に毎年行っています。

また、働きやすい職場づくりを目指し、「心理的安全性研修」や「コミュニケーション研修」を2023年度より実施しています。コミュニケーション研修は、グループワーク形式で行っており、声のかけ方の違いで相手がどのように感じるか体験できる内容となっています。



会社概要

私たちトヨタバッテリーは、四半世紀にわたりハイブリット車用電池の開発・生産を続けてまいりました。バッテリーの可能性を極限まで追求し、あらゆるソリューションに適合した製品で、お客様の価値創造実現に貢献するとともに、持続可能な未来づくりに取り組みます。



所在地：湖西市岡崎20番地

電話：053-577-3111(代表)

設立：1996年12月11日

常時雇用者数：4,947人(2024年9月)